

2002 年 9 月 26 日

■企業経営予測調査 2002 年 9 月調査結果■

製造業を主体に3期連続で改善した神奈川県内中堅・中小企業の業況判断

(株)浜銀総合研究所(社長 遠山悌二郎)では、神奈川県内の中堅・中小企業を中心としたアンケート「企業経営予測調査」の2002年9月調査を実施いたしました。今般、同調査のなかで最も注目度が高いと思われます業況判断D. Iの集計結果がまとまりましたのでご案内いたします。また、今回は例年9月に実施している県内企業の来春卒業予定者の採用予定についてのアンケート結果についてもご案内いたします。

[要 旨]

神奈川県内中堅・中小企業の2002年9月末時点における業況判断DI(全産業ベース)は▲39となりました。前回の6月調査(▲43)に比べて4ポイントの改善。「悪い」超幅の縮小は3期連続となった。

今回の業況判断DI値を製造業、非製造業の別に分けてみると、製造業は前回6月調査の▲46から今回▲31へと15ポイントの大幅改善となった。これに対し、非製造業は同▲41から同▲47と6ポイントの悪化となり、今回の業況改善は製造業の改善が主体である。

最近の県内景気は、最近の県内景気は、輸出が堅調に推移する下で、工業生産に底入れに向けた動きがみられる。今回の県内中堅・中小企業の業況判断の改善は、機械などの製造業を中心に景気が底打ちに向けてさらに前進したことを示している。

また、県内企業の来春卒業予定者の採用予定についてのアンケート集計結果は、採用を「増加」する予定の企業は全体の1割弱の8%で前年(13%)に比べ減少。「採用予定なし」の企業は前年並みの5割強を占めた。

企業経営予測調査 2002年9月実施

四半期別(第125回)結果

対象企業 神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした 853 社(うち製造業 340 社、非製造業 513 社)

回収率 41.1%(回答企業 351 社 うち製造業 162 社、非製造業 189)

業況判断D. I (2002年9月末)

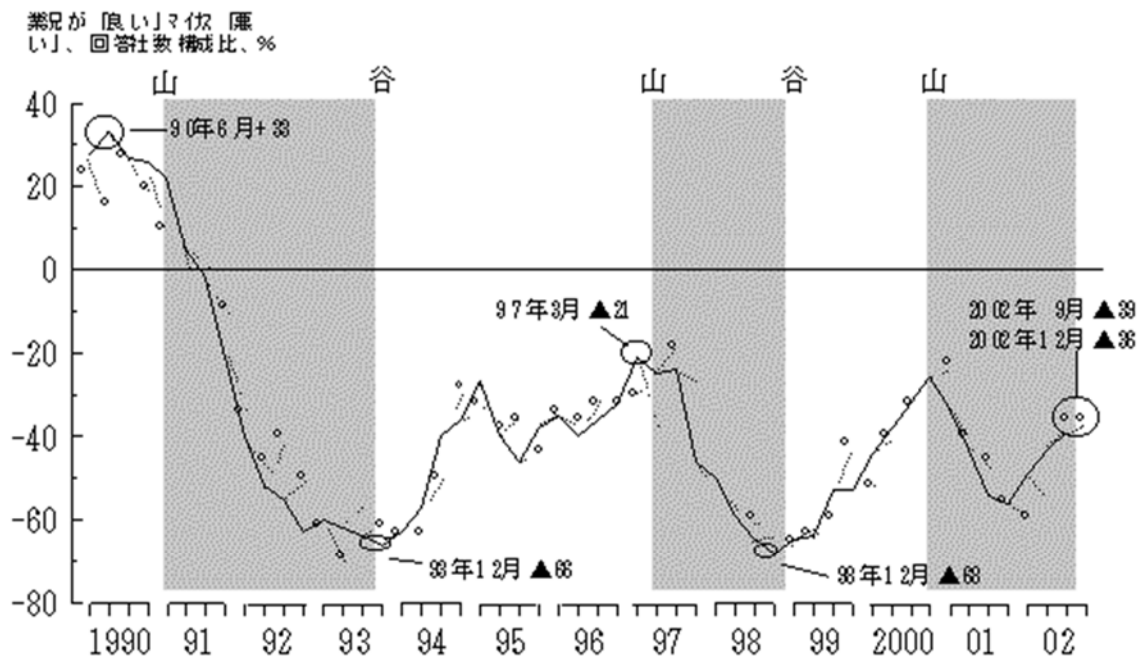
2002年9月末における神奈川県内中堅・中小企業(全産業)の業況判断DI_(注)は▲39となった。これは前回6月末調査(▲43)に比べて4ポイントの改善である。

製造・非製造の別にみると、製造業の業況判断DIは、前回調査の▲46から今回▲31と15ポイントの大幅改善となった。乗用車を主体に増産体制がみられる輸送機械やアジア向け輸出が堅調な一般機械、さらには在庫調整がほぼ終了した電気機械などを中心に「悪い」超幅は大幅に縮小した。

一方、非製造業では、卸・小売などはマイナス幅が縮小したものの、サービスで大幅に悪化したことから、前回調査の▲41から今回▲47と6ポイント悪化した。

(注)業況判断DI業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、%。

業況判断D. I. の推移
(全産業)



(注1)毎年、3、6、9、12月調査の値

(注2)○印は3か月前調査における当該月の予想値

(注3)網掛け部分は 景気後退期を示す

[3か月先の見通し]

2002 年 12 月末時点の業況判断 DI は、全産業で▲36 と 9 月末実績(▲39)に比べさらに改善する見通しである。

製造業では、電気機械は改善を見込んでいるものの、輸送機械、一般機械をはじめほとんどの業種で悪化予想となっていることから、「悪い」超幅は▲34 と 9 月末比 3 ポイント悪化する。

これに対し、非製造業では、サービスで大幅な改善を見込んでいるほか、建設卸・小売なども引き続き改善予想となっていることから、DI 値は▲38 と 9 月末比 9 ポイントマイナス幅が縮小する見通しである。

足下の業況判断と 3 か月先の見通し

(業況判断 DI: 業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、%)

区分		2002 年 3 月末	2002 年 6 月末	2002 年 9 月末	2002 年 12 月末 (予想)
全産業		▲ 49	▲ 43	▲ 39 (▲ 37)	▲ 36
製造業	製造業	▲ 55	▲ 46	▲ 31 (▲ 38)	▲ 34
	電気機械	▲ 54	▲ 55	▲ 45 (▲ 42)	▲ 43
	輸送機械	▲ 44	▲ 41	▲ 4 (▲ 31)	▲ 40
	一般機械	▲ 43	▲ 35	▲ 24 (▲ 45)	▲ 48
非製造業	非製造業	▲ 43	▲ 41	▲ 47 (▲ 36)	▲ 38
	建設	▲ 42	▲ 56	▲ 54 (▲ 53)	▲ 52
	卸・小売	▲ 57	▲ 49	▲ 42 (▲ 36)	▲ 31
	サービス	▲ 27	▲ 25	▲ 52 (▲ 29)	▲ 38

(注)カッコ内は 2002 年 6 月末調査時点における 2002 年 9 月末予想である。

[県内企業の来春卒業予定者の採用予定についてのアンケート結果]

(新卒採用者数の増加予定企業は 1 割弱で前年に比べて減少、一方、「採用予定なし」を含めた減少予定企業の割合は 6 割強を占める)

県内中堅・中小企業の来春卒業予定者の採用計画は、今春の実績に比べて「増加」を予定する企業の割合が 8%、「横ばい」とする企業が 29%、「減少」を予定する企業が 8%、「採用予定なし」とする企業が 55%となっている。

今回調査では「増加」を予定する企業の割合が前年(2001 年 9 月調査 13%)に比べて 5 ポイント減少している。一方、「横ばい」とする企業は前年(2001 年 9 月調査 24%)比 5 ポイント増加した。また「減少」予定企業は 8%、「採用予定なし」とする企業の割合は 55%でそれぞれ前年並みである。

「増加」予定企業割合から「減少」ないしは「採用予定なし」とする企業割合を引いた DI 値は▲56 と前年調査(▲49)に比べてマイナス幅が拡大した。

業種別では、製造業の DI 値は▲60、非製造業は▲52 となっており、前年に比べて、製造・非製造ともそれぞれ 7 ポイントマイナス幅が拡大した。

企業規模別では、中堅企業が▲43 であるのに対し、中小企業では▲73 と落ち込んでおり、「採用予定なし」の企業割合も中堅企業が 45%であるのに対し、中小企業は 70%を占めるなど、中堅企業に比べ中小企業で新規採用を減らす企業割合が高い。

このように来春の新卒採用は今年に比べさらに厳しさを増すとみられる。

来春卒業予定者の採用計画(回答社数構成比、%)

採用増減	増 加				横ばい	減 少			採用予定 なし	D. I.	
	前年実績比増加率					前年実績比増加率					
	50%以上	30%以上 50%未満	30%未満	30%未満		30%以上 50%未満	50%以上				
今回(2002年9月)調査											
全 産 業	8	3	2	3	29	8	3	2	3	55	▲56
製 造 業	7	4	1	2	26	12	4	3	5	56	▲60
非製造業	8	3	2	3	32	6	2	2	2	55	▲52
中堅企業	11	5	2	4	36	8	2	2	4	45	▲43
中小企業	3	1	1	1	20	7	3	2	2	70	▲73
前回(2001年9月)調査											
全 産 業	13	6	2	5	24	7	1	3	3	55	▲49
製 造 業	14	7	3	4	21	11	1	6	4	56	▲53
非製造業	13	6	2	5	27	3	1	1	1	55	▲45

(注)D. I. : 「増加」 - (「減少」 + 「採用予定なし」) の回答社数構成比、%
 * 全産業には大企業を含む

【本件についてのお問い合わせ先は、下記の担当までお願いいたします】

(株)浜銀総合研究所 調査部

八木、守谷

電話 045-225-2375(ダイヤルイン)